

# 岐阜県立多治見高等学校

学校長 鈴木 彰

学校住所 多治見市坂上町 9-141 電話 0572-22-4155

1 会議の名称 岐阜県立多治見高等学校学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 委 員 伊藤 ゆかり 本校卒業生  
仙石 健一 本校育友会役員  
田財 千裕 多治見青年会議所理事長  
中川 進 J R東海多治見駅首席助役  
村松 敦子 多治見市養正公民館館長  
(委員名は五十音順)

学 校 側	鈴木 彰	校長
	今井 雅人	教頭
	尾形 昭	事務長
	西田 智子	教諭 (教務主任)
	加藤 元規	教諭 (生徒指導部長)
	堀 裕邦	教諭 (進路指導部長)
	可知 幸則	教諭 (特別活動部長)
	河田 雅伸	教諭 (教務部)

3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会や保護者などに説明責任を果たすとともに、要望や意見を幅広く聞き、地域社会からの支援・協力を得て、それを反映できる開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 令和元年 7月5日 (金) 14:20~16:30 多治見高等学校校長室  
委員5人と学校側8人が出席

## 5 会議の概要

学校からの説明

○ (教務部より)

本校は令和4年に創立100周年を迎える。一人一人の文武両立を目指して、知・徳・体の調

和のとれた、さわやかな挨拶ができる生徒を育成している。まず、個性と多様性を尊重して、進路実現する3年間を見通した指導をしている。進路選択に生きるコース制をとり、今年度の2年次生より文系理系にそれぞれ特進クラスと標準クラスを設置している。「朝読」の取り組みについては、1・2年生は通年、3年は5月まで行っている。「総合的な学習の時間」の取り組みについては、2年次生は、いままでの月曜7限から木曜6限に移し、LHRとの連携を可能にした。進路指導室に関しては、定員減により教室が空き、進路資料室と学習室を分け、落ち着いて学習に臨むことができるようになった。来年度からは、2階の教室をマルチ教室とし選択授業や放課後の補習に活用していく。2年次生から普通科単位制としてスタートし、多様な選択科目を設定し、一人一人の進路希望に合わせた細やかな指導を行っている。授業の充実については、月・木曜日は7時限授業を実施している。各教科で小テストの実施や、土・日曜日の学習習慣を確立させるための週末課題を課している。放課後については、月・木曜日は学習優先日、火・金曜日は部活動優先日とし、文武両立の実践を応援している。情報化教育に関しては、10月に各教室にホワイトボードが入り、それに伴い、プロジェクターやタブレット型パソコンも導入される。タブレットを利用した授業の展開ができるようになり、授業の方法もこれから変わっていくことになる。

○（進路指導部より）

進路指導では、生徒一人一人の進路希望を達成できるよう指導し、進路意識の高揚を図っている。生徒一人一人が、自信をもって社会へ出ていく支援を行っている。新入試の対応に関しても、情報収集を行い、どのような指導をしていくかを研究している。また、「課題探究型学習」の効果的な実践方法を研究している。卒業生の進路状況と合格状況は資料の通りである。進路実績の中で、合格者が多いのは中部大学の45名である。私大が難しくなっている中で、生徒たちは、よく頑張っている。土曜日のサスタは、1・2年は全員対象、3年は希望者対象の補習である。また、3年に対しては、火・金曜日の放課後に希望者を募って、補習を実施している。

○（生徒指導部より）

昨年度いただいた意見を踏まえ、本年度は、生命の尊重と安全意識の高揚、主体的な活動を通じて規範意識の高い生徒の育成、事故防止、不登校やいじめ問題への対応に重点をおいて取り組んでいる。まず、生徒会の主体的な挨拶運動への支援をしている。また、MSリーダーズについては、昨年度までは、生活委員会で行っていたものを、本年度から希望制とした。希望者は、35名集まり、警察署との協働などをし、啓発活動を行っている。交通安全については、本年度6月までに、1年生で自転車の事故が、6件7名あった。いずれも自損事故であった。通学路ハザードマップ作成により、事故防止と安全意識の啓発に努めている。雨の日に事故が多く、ニュースでは、自転車が加害者になる事故も起きている。安全意識啓発と加害者にならない指導を行っている。教育相談については、不登校問題・いじめ問題・こころの問題の対応として、スクールカウンセラーによる生徒向けの教育相談講話を実施した。また、いじめ・迷惑調査を年3回行い、未然防止・早期発見に努めた。昨年度は、8件あったが、早め早めに対処することができた。地

域の方々には、ボランティア活動の啓発に協力していただき、感謝している。

○（特別活動部より）

特別活動部はホームルーム活動と生徒会活動が中心になるが、メインとなるものは、8月末に行われる学校祭である。本校では、「桔梗祭」と呼んでいるが、毎年、育友会や母親委員会の協力を得て満足のいく取り組みをさせてもらっている。また、生徒会では、挨拶運動を行っている。4月から6月までの大きな活動では、4月9日の対面式と5月16日のスポーツ交流大会があった。対面式は、新入生を歓迎する行事で、生徒会長が、高校が中学と違うところを挙げながら、歓迎の気持ちを伝えてくれた。また、スポーツ交流大会は、大変盛り上がり行われた。綱引き、五人六脚 ホームルーム対抗リレー、大縄跳び等の競技でクラスの順位を競った。また、クラスとは別に、部活動対抗リレーを行った。これは、スピード部門とパフォーマンス部門に分けて行い、スピード部門では、運動部が、パフォーマンス部門では、一部の運動部と書道部や演劇部などの文化系の部が出場し、スピードやユニークさを競い合った。部の応援は、先輩・後輩といった縦の関係の応援で、3年生の生徒にとっては、最後のスポーツ交流大会ということで、今まで以上に一生懸命取り組むことができた。運営にあたっては、体育委員や運動部の生徒など、一生懸命動いてくれた。全校生徒が楽しく取り組むことができ、事後アンケートの結果も満足度100%であった。部活動の成績については、資料の通り、陸上部が東海大会へ出場した。また、県大会出場は、サッカー、弓道、卓球、テニス、ハンドボールの各部である。また、この資料作成のあとに、水泳部が東海大会を決めている。

○（教頭より）

学校課題について話す。本校では、これまで、「アクティブラーニング」について3年間の研究指定を受け、深い学びにどうつながっていくかを研究して成果があったが、教員の資質に大きく左右されるという課題も明らかになった。そこで、今年度からは、新カリキュラムのもう一つの柱である、「カリキュラム・マネジメント」の実施を計画し、教員の資質に左右されない安定したカリキュラムの編成ができないかに取り組むこととした。教育目標を大きく変え、どういう生徒を育てたいかを、みんなで話し合い、学校全体で、職員の総意のもと決めていく。令和4年度には新しい教育課程がはじまるが、教科間の繋がりをもたせて活動を進めていく。

ふるさと教育について、「地域課題探究型学習」を「総合的な学習の時間」のゼミ学習を中心に実施し、地域との連携を進めながら各自の進路や将来についても考えさせる。また、「ふるさと教育協議会」を開催し、年3回専門家や地域の事業所の方を招いてアドバイスをいただくようにしている。

○（進路指導部より）

2年生の総合学習は、5月までは修学旅行の取り組みをし、6月から2月までは、ゼミ学習を行っている。これまでで、3回行っている。ゼミ学習の内容としては、資料にあるように「プロ

プロジェクトX『土岐川』や「町づくり活性化プロジェクト」や養正小との交流を行う英語の取り組みなどがある。これまで、「地域で学ぶ」をスローガンに、校外へ出て地域との連携をし、地域の中でいろいろなことを学んでいる活動も行っている。これからも、多治見の活性化につながる取り組みをしていきたい。「サイエンスショー」の取り組みなど、地域へ宣伝できる企画があったら、受け入れ等をよろしくお願ひしたい。

#### 学校評議員からのご意見・ご感想

##### 意見・感想1

最後の説明であったふるさと教育の取り組みは、生活情報誌「おりべくらぶ」の記事でコラボできればよいと思う。授業を参観しての感想は、3年生の人数が多いので後ろがきつきつの印象であった。1・2年生の人数ぐらいであると、教室の後ろにスペースがあつてよかった。

##### 意見・感想2

授業を参観しての感想は、生徒たちが、意欲的に取り組んでいた。

質問であるが、娘が自転車通学で通っているが、雨の日について、自家用車で送った場合どこで降ろしたらよいか。

##### (回答)

雨天時の自転車通学は、傘さし運転はダメであるので、雨合羽を利用してもらう。自家用車で送っていただいた場合、どこで降ろすか学校で指定しづらい部分があるので、保護者の方のモラルに頼らざるを得ない。

ホワイトボード・タブレットを利用するようになった場合、今はスマートフォンの使用は禁止だがどうなるのか。

##### (回答)

将来的には、スマートフォンを授業で活用していくようになる可能性がある。また、コンテンツ利用についての著作権の問題等があるので慎重に対応したい。

##### 意見・感想3

授業を参観し、教室が涼しく、生徒はよい環境で授業が受けられていると感じた。生徒たちも頭髪の乱れがなく感心した。指導が行き届いている。授業の内容も、参加型のものが多く、予習していないと答えられないと思う。しっかりと取り組んでおり、素晴らしい。いじめ問題について3回いじめ調査を行っているとのことであるが、そのことについてもう少し聞きたい。

(回答)

1回目は無記名でアンケートを行い2回目はもう少し深く掘り下げたものを記名式で行っている。そこで、浮き彫りになったものを、教育相談担当が中心になって対処している。いじめというよりは人間関係の作り方の問題と思われるものもあるが、些細なことでも手を差し伸べてクリアにしている。

意見・感想4

学校が生徒のことを思ってカリキュラムを考えていることが、とてもよいと思った。「危機管理のさしすせそ」について、もう少し説明してほしい。

(回答)

最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織的に対応することの頭の文字をとったもので、すべての事案に対して、こういったことを意識して対応している。担任が一人で問題を抱え込まず、組織として対応できるようにしていく。職員室の中でお互いに話をする中で、組織的な対応ができればよい。

意見・感想5

英語の授業で、プロジェクターを使った授業は楽しかった。映像の部分とチョークの部分うまく使い分けてテンポよく効果的に行われていた。生徒たちも、落ち着いて授業に取り組んでいる。気に入ったのは、もうちょっと覇気のある大きな声で、自信をもって答えると良いと思った。真面目に取り組んでいる生徒が多い印象である。自然科学コースがなくなるのは残念である。今の3年が自然科学コース最後の学年ということで頑張ってもらいたい。先生方の学習支援がしっかりしており、恵まれた学校であり頼もしい学校であると思った。進路の結果も出ている。いじめの問題にも早めの対応をし、無記名アンケートから記名調査に掘り下げているとのこと。8件の事案のその後はどうであったか。

(回答)

対応はうまくいっている。どのケースも解決の方向に進んだ。

それぞれの事案が、どのようにすすんでいるのか気になったが、安心した。文化祭について、参観は保護者のみになったのか。

(回答)

案内させていただく。ぜひ、来ていただきたい。

生徒たちは、挨拶運動や小学生の子たちをサポートする活動をしている。地域で活躍している。また、吹奏楽部の皆さんにもお世話になり、大変、感謝している。

## 6 会議のまとめ

(学校長より)

地域の皆様の支えがあつての多治見高校であるので、ふるさと教育を通して地域貢献をしたい。皆様の厳しい意見をいただき、職員皆でよい学校にしていきたい。本日は、どうもありがとうございました。